さざんくろす

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER
December 1st.2020
vol.72

病院長
阪越 信雄

令和2年も残りわずかとなってきましたが、皆様には
お元気でご活躍のことと思います。

さて、今年一年を振り返ってみれば、最大の話題は何といっても新型コロナウイルス感染症（COVID-19）でしょう。昨年末から中国武漢市で始まったCOVID-19は瞬く間に世界規模のパンデミックとなり、アメリカや欧州などの先進国でも医療崩壊が起こりました。本邦においても感染者数は急増し、「三密」「緊急事態宣言」「Stay at Home」「新しい生活様式」など、聞きなれない言葉やキャッチフレーズが国内を駆け巡りました。国難とも言える厳しい状況のもと、多くの国民が制限された生活を強いられたことは記憶に新しいところです。

和歌山県でも仁坂知事がしばしば「県民へのお願い」を発表しました。これに準じて紀南病院においても「職員への病院長通達」をくどいほどに発出しました。県を跨いだ移動の自粛、同僚の送別会や新しい仲間の歓迎会の自粛、さらには友人との会食も強く自粛するように、など、個人の生活を強く制限する要請まで行いました。職員の皆様には大変不自由な思いをして頂きましたが、その甲斐あってかCOVID-19の職員感染・院内感染は生じませんでした。皆様の自覚と自制心には本当に頭が下がる思いで、深く感謝申し上げます。

一方で、COVID-19による患者の受診控えや清潔ガウン等の不足による手術制限などにより、全国的に病院経営は甚大な被害を受けました。紀南病院についても令和2年度の経営は大変厳しいものがあります。当院は第二種感染症指定医療機関・COVID-19重点医療機関として、2月の感染第一波の時点からCOVID-19患者を受け入れてきました。また第二波が到来して田辺市内でクラスターが発生した際にも多くの患者を受け入れました。和歌山県との協議により、一時は60床を専用病床に転換してCOVID-19に対応してきましたが、その結果、例年は85%程度の病床稼働率が、5月55%・6月62%にまで落ち込みました。7月8月には73%程度に回復しましたが、今後、以前のような稼働状況に戻るかは全く不透明です。国として医療崩壊を防ぐ目的で組まれた令和2年度第二次補正予算により、紀南病院にも一定程度の補助金が支給されますが、今後も厳しい経営状況が続くことは覚悟しなければならないでしょう。

ただ今回のCOVID-19禍において、公立病院の存在意義が見直されたことはある意味で幸いでした。地域医療構想の名目で実質的には公立病院の統廃合が計画されつつありましたが、感染症に対して地域をしっかりと支えた公立病院の底力が示され、地域医療構想を根本的に練り直そうとの流れも出てきているようです。また、感染予防用ガウン・マスク・手袋の寄贈、現金寄付、梅ジュースや清涼飲料水の差し入れなど、地元企業・個人・学校生徒等から、紀南病院に対してたくさんの心温まるご支援をいただきました。このことは、私たちの病院がいかに地域の人々から愛され・信頼され・期待されているかを示したものです。大変誇らしく、かつ責任の重さに身の引き締まる思いでもあります。
COVID-19との戦いはまだまだ続きますし、私たち職員の生活に直接的間接的に関与する病院の経営状況も厳しい状況ですが、令和3年の干支（丑＝牛）にちなみ、次の一年間も粘り強く誠実に、そして心を一つにして頑張りましょう。

最後になりますが、私は平成30年4月の病院長就任挨拶で「風通しの良い職場」「不公平感のない職場」を作りたいと述べました。今もその気持ちに変わりはありません。皆さんそれぞれ、委員会や会議に出席されていると思います。そのような場において「意味のない発言」などと言うものはありません。その意見が「働きやすい職場につながる」と思うなら、小さな勇気を持って発言してください。職員一人ひとりの行動が「良い病院文化」を作る力になると信じています。

来年も職員の皆様全員が健やかに生活し、笑顔で年末を迎えることができることを祈念して、私の年末のご挨拶とさせていただきます。

研修医
北野 翔一

こんにちは！紀南病院初期研修医2年目の北野翔一と申します。
この度はサザンクロスの研修医日記という場をお借りすることになりましたので、自己紹介もかねて一筆したためさせていただきます。

生まれは鳥取県の米子市で、4,5歳の頃に父親の留学に付き添いスウェーデンに行っておりました。スウェーデンでは庭に野生のウサギ、ハリネズミがいたり、日本での石焼き芋のようにアイスクリーム屋が車から音楽を流しているのを聞きつけて急いで買いに行ったりと、今思えば日本では考えられないような幼少期を過ごしていました。小学校に入り大阪へ引っ越し、中高一貫校に通い、大学は北海道大学に行きました。北海道大学は札幌駅の目の前に正門があり(病院までは徒歩20~25分程かかってしまいますが…)、近くにすすきのという飲み屋街があり、夏は涼しく、冬はウィンタースポーツもできると、雪と寒ささえ我慢できればとても過ごしやすい環境でした。Mouseionというサークルに入っていまして、大学の博物館で展示解説したり、他の博物館、動物園、水族館などに遊びに行ったりとゆる〜く楽しんでいました。
自己紹介ついでに好きな食べ物の話でもしてみます。うどんが好きで、特に冷たいこしのあるうどんは格別です。今でもかなりの頻度でうどんを食べに出かけますが、皆様ご存じうどん県に行った際には1日10食分程のうどんを綿密な計画を立てて食べに行ったりしていました。回し者というわけではないですが、個人的に一番おいしいと思ったのは谷〇米穀店です。是非調べて行ってみてください。
研修修了まで残すところあと数ヶ月となりました。研修で印象に残った思い出は、忘年会でスーツを着てブルーマンのように顔を真っ青に塗ってぎこちない動きで必死こいてPERFECT　HUMANを踊ったことでしょうか？（笑）ネタは同僚に考えてもらいましたが、やりきった達成感もあってかなり楽しかったです。
病院ではたくさん迷惑をかけてしまうこともあったと思いますが、多くの先生方、コメディカルの方に支えていただき充実した研修を送らせていただきました。ありがとうございました。まだもう少しだけ紀南病院にいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★ ★ 研修医日記 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

研修医
中務 亮

平素より大変お世話になっております。研修医2年目の中務亮です。
医療の現場で働く社会人として早2年が経過しようとしており、月日が過ぎ去っていくのを痛感しています。
振り返れば、この2年間は学生から急に現場に投入され、慣れない業務に四苦八苦しつつ毎日新しく学ぶ日々は、大変ではあるものの成長を感じられる日々でもありました。
平素より大変お世話になっておりますという慣れない言葉も多少は板についてきたかなと感じられるようになってきました。

そんな自分について、今更かもしれないですが、少し自己紹介をさせていただきます。
自分は白浜町、富田に生まれ地元の富田中学、田辺高校と進学し紆余曲折の後、和歌山県立医科大学を卒業、紀南病院へ就職しました。
学生時代の部活動は中学陸上、高校軟式テニス、大学ではフットサル、ゴルフと1つのことに集中できない器用貧乏っぷりを存分に発揮し、その優柔不断さで仕事をし始めても専攻科をなかなか決めることができずにいました。
1年目は循環器内科、消化器内科、救急科、小児科、産婦人科、外科、一般内科、検査部と院内では研修させていただいて、指導医の先生方にご迷惑をおかけしつつ各科の魅力的な部分を知っては、そのたびに自分の進路について思い悩んでいました。その過程で徐々に外科的な手技に魅力を感じ、外科系に進むことを志し2年目は母校である大学の外科系をローテートすることを決めました。
4ヶ月間院外で研修し、勉強になったことは多々ありましたが1番実感できたことは紀南病院での研修がいかに恵まれた環境であったかということでした。自己主張が激しすぎる奴や、自己主張がなさすぎる奴、温泉が好きすぎる奴、存在感がなさすぎる奴、時に露出が激しすぎる奴と個性的すぎる同期に囲まれて話題に事欠くことはありませんでしたし、コメディカルのスタッフさん達との距離も近く、久しぶりに紀南病院に帰ってきた際に、「久しぶりやね、どこ行ってたん」と声をかけて頂けることが、とてもうれしかったです。最近の生活様式の変容もあり、院外で関われる機会は少ないものの1年目の後輩達も優秀な後輩ばかりで、身も引き締まる思いです。

そんなこんなで、早くも2年の研修も終わりに近づいてきましたが、3年目は和歌山で整形外科医としての道を志すことを決めました。自分を育ててくれた紀南病院に恥じぬよう努力を続けていくつもりです。
今後紀南地方に帰ってきたときには気軽にお声がけいただけたら、小躍りするほど喜ぶと思いますのでどうかよろしくお願いします。

医療の現場から

形成外科とは？

形成外科
上野 一樹

和歌山県立医科大学に形成外科が開設され約5年、私が当院で非常勤医として診療を開始し早３年が過ぎましたが、県内ではまだまだ馴染みが薄く、形成外科がどのような疾患を診療対象としているのか分からない患者さんも多いようです。

全国では３０００人程度の形成外科専門医がいますが、県内には未だ１０人程度しかおらず、残念ながら和歌山は形成外科領域の過疎地といっても過言ではありません。
形成外科では、身体に生じた欠損や変形などに対して、形態的にも機能的にも本来あるべき姿に再建修復し、また整容的によりきれいにすることによって『生活の質』の向上を目指しています。頭の先から足の先まで、表面的ではありますが、全身を対象としています。また、お子様からご高齢の方まで幅広い年齢の方を対象に診療しています。
具体的には、皮膚腫瘍、傷跡修正（醜状痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド）、眼瞼下垂、眼瞼内反（さかまつげ）、腋臭症（ワキガ）、陥没乳頭、耳垂裂、陥入爪など局所麻酔で治療可能なものは当院で手術加療を行っております。それ以外に、熱傷、先天異常（口唇口蓋裂、小耳症、多合指症など）、顔の骨折、顔のけが、顎変形症、悪性腫瘍切除後の再建（乳房再建、頭頚部再建など）、褥瘡、難治性潰瘍、リンパ浮腫、顔面神経麻痺などの治療も行っています。全身麻酔や入院が必要な疾患に関しては、院内他科の先生方にご協力頂く、あるいは和歌山県立医科大学付属病院と連携をとりながら治療を行っております。
また、当院では保険診療で治療可能な疾患のみ対応しておりますが、美容外科も形成外科の一分野とされております。適切な施術をすれば、患者さんの生活の質を向上しうる分野であると思いますが、残念なことに県内においても美容外科施術に伴う健康被害が多発しております。そのようなトラブルの窓口として、10月より和歌山医大に美容後遺症外来を新規開設しておりますので、お問い合わせ頂ければと思います。
一人でも多くの患者さんの生活の質を向上できるよう、全力を尽くしますので、気軽にご相談いただけると幸いに存じます。よろしくお願いいたします。　**※外来診療：毎週月曜日　午前8時30分～午前11時**

こころの医療センター
看護部長
鬼塚 哲郎

令和２年４月に紀南こころの医療センター看護部長に就任いたしました鬼塚です。
センターは昭和５９年に新庄別館として移転して３７年目になります。移転当初は３１２床、６病棟でした。医師の不足・入院患者数の減少から３つの病棟を閉鎖・休床し現在は３病棟での稼動となっています。

今般は地域社会の精神科への理解が進み早期の受診による治療開始が早くなってきたこと、新薬の開発が進んできたことで以前のような精神運動興奮の患者さんは減少してきています。代わりに現代病といわれるうつ病や発達障害など以前にないような疾患の患者が増加してきています。
看護においては昔のような長期入院患者へのサービスなどではなく入院3ヶ月以内での退院を目指した看護、再入院を防ぐための看護を目指しております。
各部門で上記の目標を達成すべくいろいろな取り組みをしています。
病院全体で入院・外来患者に対して疾患教育に取り組み通院の必要性・服薬の継続の必要性・不調時の対処方法などを指導し再入院を防ぐ取り組みをしています。
訪問看護も地域へ出向き同様に指導を行っています。デイケアでは余暇の過ごし方や作業所通所へ繋げることに取り組み社会復帰を目標にしています。
今後とも皆様のご協力をお願いします。

病院のまど

お知らせ

《第106回
がんサロン「ふれあい」開催》

日時：12月4日(金)14:00〜15:00
場所：3階講堂

※予防対策を実施して行いますので
ご協力をお願いいたします。

令和2年10月1日より『院内フリーWi-Fi』によるインターネット接続サービスを開始いたしました。詳細については当院のホームページに掲載しています。

※ご利用については自己責任において他の方の迷惑にならないようマナーを守ってご利用ください。

New face さ〜ん

《医師》

①出身地②趣味(特技・得意技)
③一言アピール　　（敬称略）

《血液内科》
まつやま よりこ
松山 依子
①神奈川県②映画鑑賞・旅行③血液内科としてできるだけ地域に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

《整形外科》
おおしま ともこ
大島 智子
①大阪②温泉めぐり③ご迷惑をかけることも多いと思いますが精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

《小児科》
すずき けい
鈴木 景
①大阪②バスケットボール③半年ぶりの田辺です。自分を育ててくれた紀南病院に『恩返し』ができるよう精一杯努めてまいります。

編集後記

早いもので2020年も残りわずかですね。皆さん今年はいかがでしたか？オリンピックイヤー！と胸を膨らませ迎えたはずの2020年。振り返れば世界中が新型コロナウイルスに翻弄された１年となりました。前代未聞のことに身も心も疲れることが多かったのではないでしょうか。"新しい生活様式"の中迎えるお正月。おいしいものでも食べて、気持ちをリフレッシュして新しい年を迎えましょう。2021年は明るいニュースで溢れますように…！！
K著

daikoku 株式会社 大黒
本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	〒641-0014 和歌山市毛見1111-1
トライアルフィールド ayumino	〒594-1157 和泉市あゆみ野4-6-6
南大阪支店	〒594-1157 和泉市あゆみ野4-6-6
大阪支店	〒577-0015 東大阪市長田3-7-11
神戸支店	〒653-0042 神戸市長田区二葉町1-1-22
奈良支店	〒630-8115 奈良市大宮町6-3-13 大宮ヨシエビル
紀南支店	〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
阪神営業所	〒661-0981 尼崎市猪名寺1-22-22
新宮営業所	〒647-0052 新宮市橋本2-5-61
東京麹町オフィス	〒102-0083 千代田区麹町3-5-2BUREX 麹町301号
京都丸太町オフィス	〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY